

町民意向把握 第1回アンケート結果について

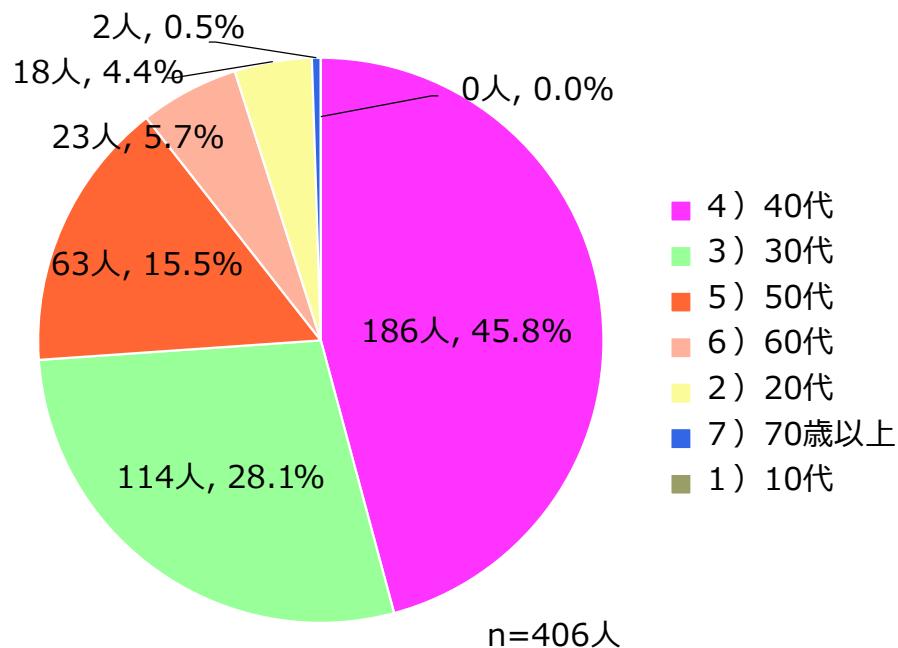


令和7年11月
有田町 学校教育課

第1回アンケート結果

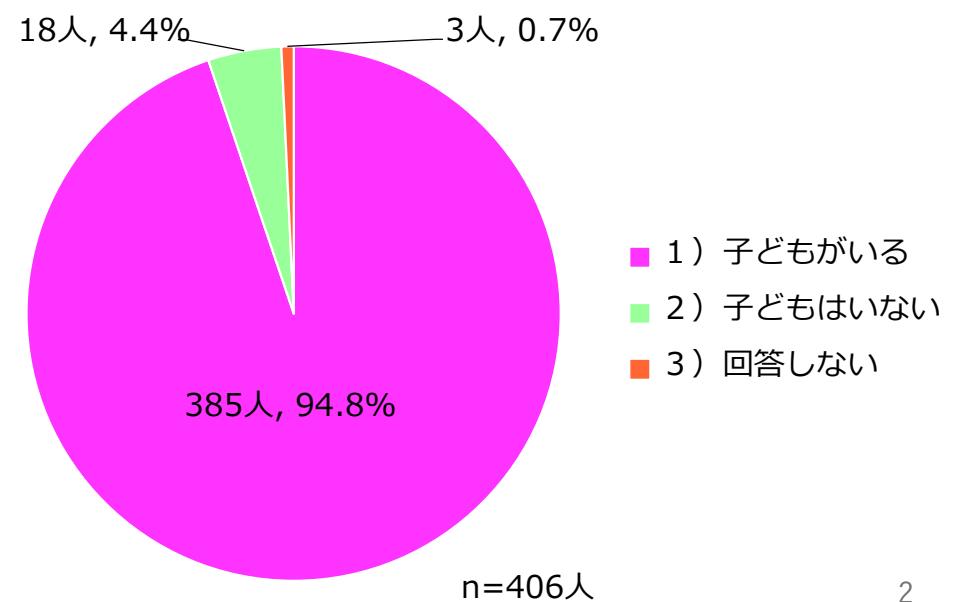
Q1-1. あなたの年齢層

- 回答者の年齢層は40代が最も多く45.8%を占め、30代～40代の子育て世代が全体の7割以上を占めている。
- 中学校統合に関する意見は、主に子育て世代の視点から出されていることがわかる。



Q1-2. お子さんの有無

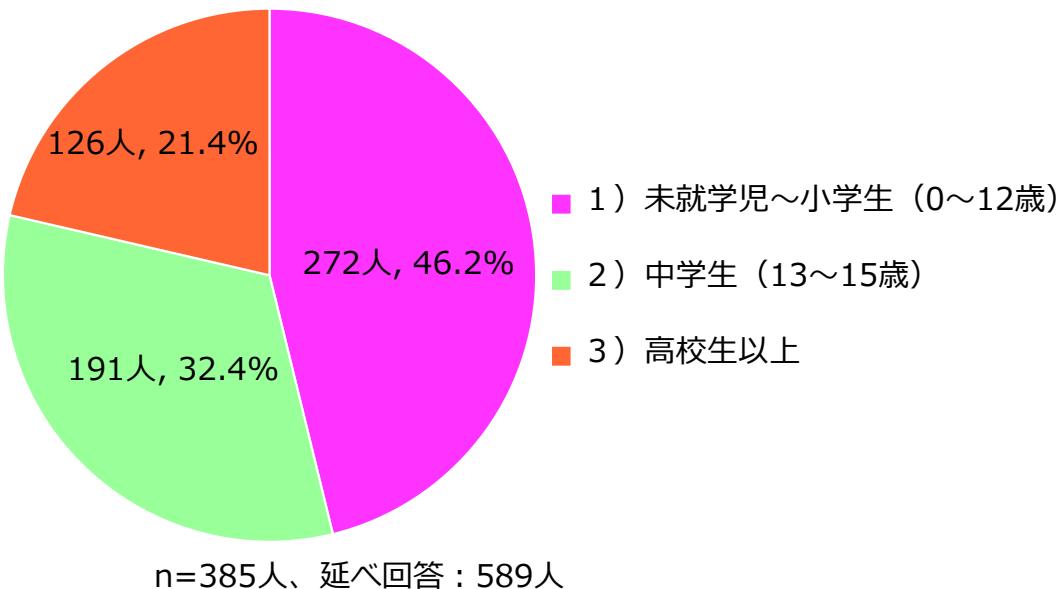
- 回答者の94.8%が「子どもがいる」と回答しており、子育て世代の意向が中心に反映されている。



第1回アンケート結果

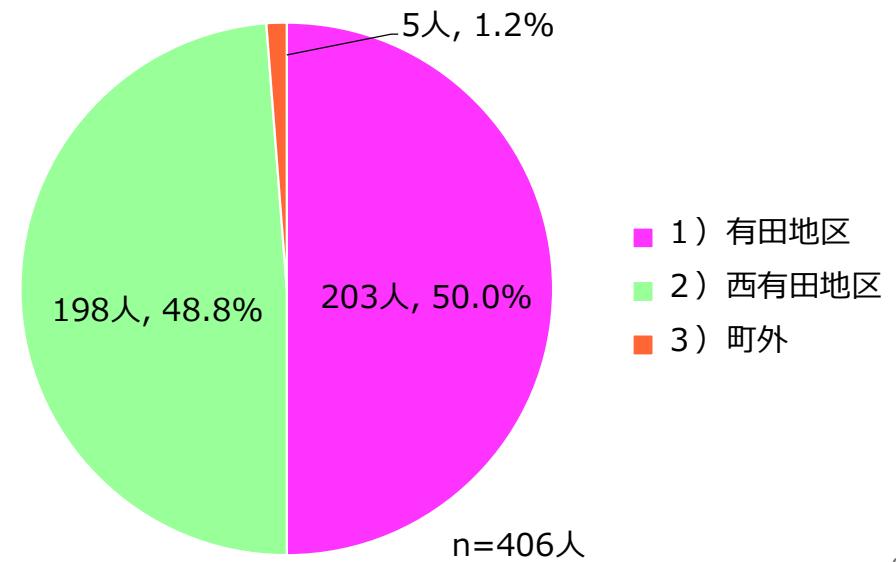
Q1-3. お子さんの年齢層（複数回答）

- 未就学児～小学生（0～12歳）が46.2%、中学生（13～15歳）が32.4%と、中学校に在学中または進学予定の子どもを持つ保護者が多く、中学校統合への関心が高いことが示されている。



Q1-4. あなたの居住地区

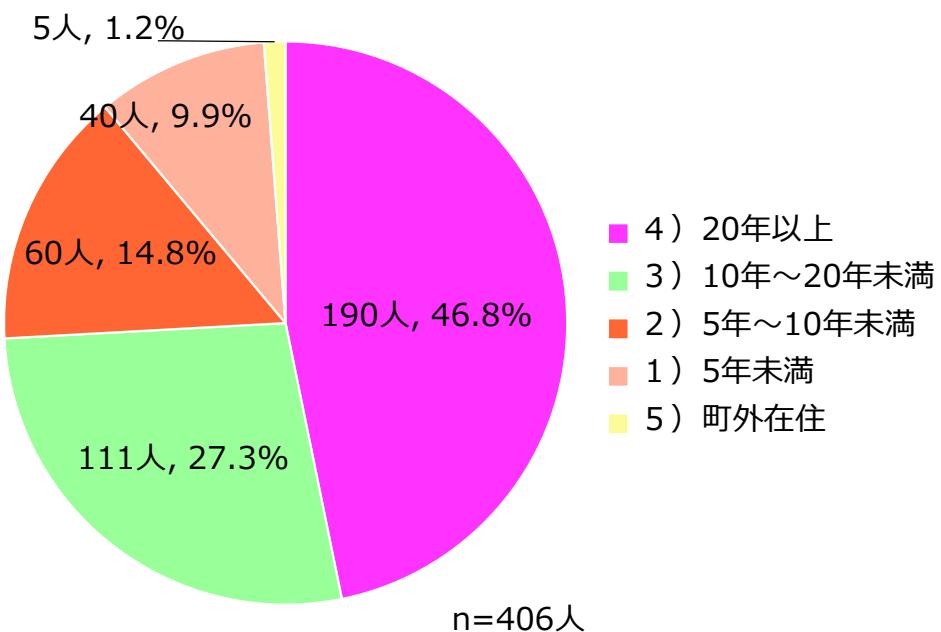
- 有田地区が50.0%、西有田地区が48.8%とほぼ同数であり、両地区のバランスが取れている。
- 統合にあたっては、両地区的通学環境や利便性について総合的に配慮する必要がある。



第1回アンケート結果

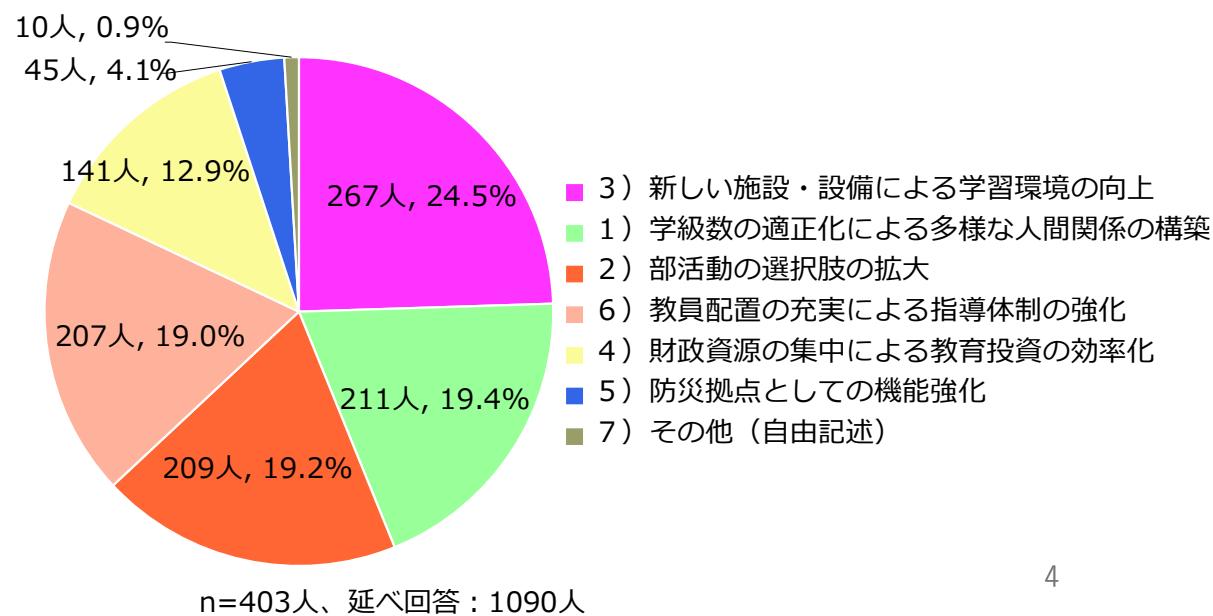
Q1-5. 有田町での居住年数

- 20年以上住んでいる方が46.8%、10年以上が7割以上と、比較的長く住んでいる方が多く、地域の歴史や文化への関心も高いと考えられる。



Q2-1. 中学校統合によって期待できること (3つ選択)

- 「新しい施設・設備による学習環境の向上」が24.5%で最も多く、次いで「学級数の適正化」「部活動の選択肢の拡大」「教員配置の充実」がそれぞれ2割弱ずつと、教育環境の質的向上が期待されている。



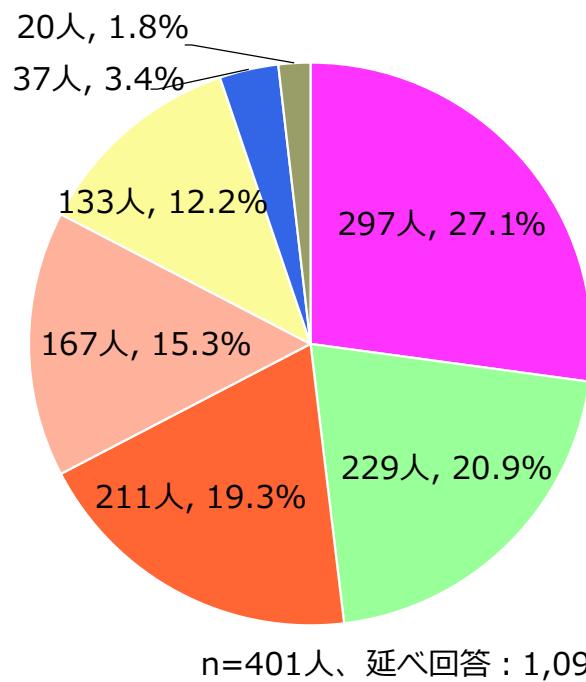
第1回アンケート結果

Q2-1. 中学校統合によって期待できること-その他

大分類	小分類	意見
要望	教員採用状況への配慮	教員希望者の減少を考慮し、採用状況を意識した施策が必要だと考える。
要望	旧町間の真の合併	旧有田町と西有田町の本当の意味での合併を期待する。
要望	教員の人材削減	教員の人材削減を期待する。
反対意見	期待できない（全般）	期待できることはない。
反対意見	期待できない（全般）	期待できるところがない。
反対意見	期待できることは少ない	期待できることは極めて少ない。
反対意見	特に期待することはない	期待することは特にない。選択肢にも同意するものはない。
反対意見	合併への期待薄（財源以外マイナス）	財源以外はすべてマイナスであり、期待できることはない。
反対意見	合併自体への不満（学校統合）	学校統合による有田中学校の移転に反対。西有田の人口が少ないなら、有田中学校を駅近くで建て替えるべき

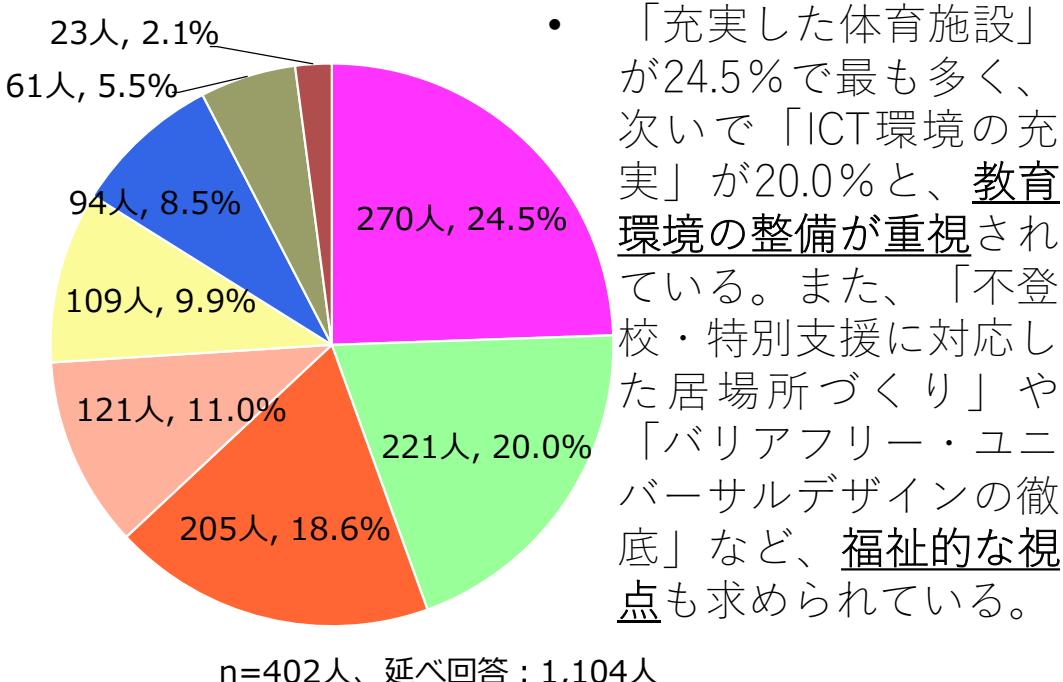
第1回アンケート結果

Q2-2. 中学校統合について心配なこと (3つ選択)



- 「通学距離・時間の増加」が27.1%、「通学中の安全面の問題」が27.3%と、通学に関する懸念が最も多く、スクールバスの運行や安全対策が重要な課題となる。

Q2-3. 新設中学校に特に重視してほしい施設・機能 (3つ選択)



- 「充実した体育施設」が24.5%で最も多く、次いで「ICT環境の充実」が20.0%と、教育環境の整備が重視されている。また、「不登校・特別支援に対応した居場所づくり」や「バリアフリー・ユニバーサルデザインの徹底」など、福祉的な視点も求められている。

第1回アンケート結果

Q2-2. 中学校統合について心配なこと-その他

大分類	小分類	意見
要望	炎博公園の存続	炎博記念公園をなくさないでほしい。
	歴史の森公園の存続	歴史の森公園がどうなるのか心配。なくなるのは嫌だ。
意見	教育施設の配置	教育だけでなく、有田町全体の方向性の中で教育施設の配置を検討すべき。
	小中学校統合の提案	有田と西有田の統合より、各小中学校の統合の方が地域活動的に有効ではないか。
懸念	新校舎レイアウト（炎博施設との関係）	新校舎レイアウトにおける炎博施設との利便性への懸念。
	炎博の利用制限	炎の博覧会が統合後もこれまでと同様に利用できるか心配。
	炎博の安全性（侵入者対策）	炎博記念公園に学校を作る場合、関係者以外の侵入を防ぐ対策が必要ではないか。
	炎博への通学路（坂道）	炎博が候補地の場合、急な坂道を毎日自転車で登下校するのは大変ではないか。
	通学路の安全性（坂道）	新校舎周辺の坂道での自転車通学における交通事故の可能性。
	親族による送迎	通学において親族による送迎が想定されることへの懸念（負担増など）。
	送迎による渋滞	送り迎えによる新校舎周辺の渋滞が、一般車両にどの程度影響するか。
	財政状況	合併後の財政状況についての懸念。
	少子化対策の成果	子どもが減るから統合するのは仕方ないが、そもそも子どもを産みやすい、育てやすい町になっていない現状への懸念。行政の実績に不安がある。
	地域間の意識の違い	東西地域間の慣習の違いによる生徒間の摩擦。
	地域間の慣習の違い	東西地域のちょっとした慣習の違いなどを子ども達が受け入れられるような配慮が必要ではないか。
	歴史と文化の森公園の環境	歴史と文化の森公園（炎博）はアレルギーが出やすく、風が強く、寒く、坂道も大変である。
	進路の選択肢の変化	中学校統合による高校進学時の選択肢の変化。
	治安の悪化	西有田の治安悪化のイメージから、有田に不良が増えることへの懸念。

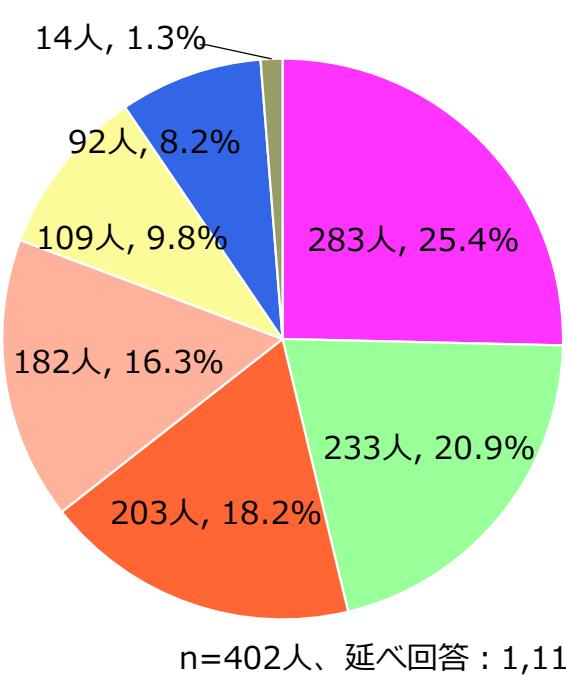
第1回アンケート結果

Q2-3. 新設中学校に特に重視してほしい施設・機能-その他

大分類	小分類	意見
意見	スクールバスの是非/現校舎の改善	スクールバスがあれば、現西有田中学校で良いのではないか。将来の小中学校統合も考慮し、新設ではなく現校舎の改善に予算を充てるべき。
	機械に頼りすぎないこと	機械ばかりに頼らないで欲しい。
	新規建設への反対	新規建設は望まない。環境は現在の校舎でも十分。
	新設中学への反対	新設中学に賛成ではない。
	選択肢への不満	今の学校でもできることを重視施設機能としてあげるのはおかしい。できない選択項目を作るべき。
	町内施設の一極集中/施設縮小の検討	有田町にある体育施設やその他などを集結させてほしい。有田町全体の財産（施設）が縮小していく方向で検討してほしい。
要望	通学バス	通学バスは必ず必要だと思う。
	セキュリティの徹底	セキュリティが万全であること。
	部外者の侵入防止/教員の選定	部外者が入って来られない安全性、性加害や虐待の前科のない教師を配置してほしい。
	安心安全に過ごせる環境	子どもたちが、安心安全に過ごせたらそれでいい。
	安全な送迎環境	①安全でスムーズな送迎のための駐車場スペースの確保（特に有田中学校の不便さの改善）。
	安全性の高い構造	安全性の高い作りであること。（2）
	学習面での充実/教員の充実	学習面での充実と教員の充実。
	学習環境の充実（エアコン）	全ての部屋にエアコンを設置し、学習環境を充実させてほしい。
	熱中症対策/防寒対策	冷暖房など熱中症対策、防寒対策の整った学習環境。
	学力向上のためのプログラム	他の地区に行かなくても良いように学力向上のプログラムを充実させてほしい。
	専用の武道場/ウェイトリフティング場	専用の武道場やウェイトリフティング場がほしい。
	多目的利用可能な施設	単なる学校という形にこだわらず、災害時など様々な用途に対応できる施設。
	地場産業との連携/小中一貫校	地場産業である有田焼関連業者との関わりを増やしてほしい。小中一貫校にしてほしい。
懸念	利便性の高い公衆電話設置	②屋根付きの便利な場所への公衆電話設置。（現状の有田中学校の環境の悪さの改善）
	学校入り口の混雑	学校入り口の登校時と地域通勤者との混雑。

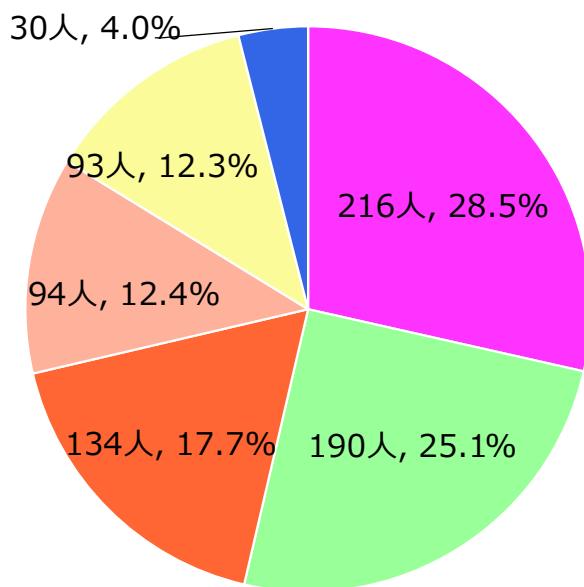
第1回アンケート結果

Q3-1. 新設校の教育環境として重視すべき点
(3つ選択)



- 「個別最適な学びと協働的な学びの両立」が25.4%で最も多く、次いで「グローバル教育・英語教育の充実」が20.9%と、教育の質的向上が期待されている。

Q3-2. 統合後の既存中学校施設の望ましい活用方法
(2つ選択)



- 「スポーツ施設」が28.5%で最も多く、次いで「解体して公共空間として整備」が25.1%と、地域に開かれた公共施設としての活用が求められている。

第1回アンケート結果

Q3-1. 新設校の教育環境として重視すべき点-その他

大分類	小分類	意見
意見	教育委員会の改革	教育委員会の古い考えを払拭しないとダメ。
	選択肢への不満	なぜ3つに絞る？全部大事。今の学校でも重視してください。
要望	意見を言いやすい環境	子供が自分の意見を言える環境づくり。
	学習に集中できる環境/支援体制	学習に集中できる環境と、支援が必要な人への援助体制。
	学習環境と学力向上	学習環境が整うことによる学力の向上。
	学力向上（全ての子ども）	まずは学力を。どんな子も。
	学力低下への対策/教員の確保と適切な処遇	無駄に美辞麗句を並べずに、学力低下に対してキチンとした対応が出来る教員の確保と教員に対する適切な処遇。
	教育の見える化/地域・家庭との連携	教育の見える化(地域、家庭で協力できる様)。
	現場の意見重視の運営	生徒の実態に応じ、現場の先生方の意見を重視した運営を望む。
	資産運用・投資教育	資産運用、投資等の教育。
	小規模校への配慮	小さな小学校（既存の4校のうち3校は小規模校なので）大人数に慣れていない子どもが多いので、その点への配慮。
	体育施設への冷暖房設置	体育施設にも冷暖房を設置してほしい。
懸念	生徒指導への懸念	現在、生徒に厳しくできないのが問題で生徒が悪い方向にいってる人が多いので教育の面が不安。
その他	回答しない	答えることはない。

第1回アンケート結果

Q3-2. 統合後の既存中学校施設の望ましい活用方法-その他 1/2

大分類	小分類	意見
意見	ビジョンと責任者の明確化	特になし。明確なビジョンのもとで、責任を取れる人が決めるのであれば何でもいいです。
	現在の有田中へのバス通学	解体しないで西有田の人々がバスで現在の有田中学校まで通う。バスもしくは電車。
	現状校舎の活用/新規建設反対	そもそも新規建設は反対なので、現状の校舎を有効活用すべき。
	西有田小学校の存続	西有田は西有田小学校がいいと思います。
課題	税金と企業誘致	有田は税金が高く若い世代は来ないと私は思います。私も住み続ける事が出来るか。新しい企業誘致を是非お願いしたいです!
	利便性と活用困難性/資金の必要性	維持していくにも資金が不可欠。利便性が良いところならいろんな活用方法も考えられるが厳しいと思う。
提案	解体して宅地/医療モール/コワーキングスペースなど	建物が古いので安全面から考えても解体が望ましい。その場所には、人口増加を促す場所（宅地や医療モール、コワーキングスペースなど）を作る。
	解体して宅地分譲	既存中学校の建築年数、耐震性などから解体して宅地分譲もいいのではないか。
	解体し企業誘致/企業支援施設	築年数が経っているため、解体して、企業誘致や企業支援施設にしてほしい。
	曲川小と大山小の統合場所	西有田中跡地は、曲川小と大山小を統合した小学校を建設する。
	今後的小学校統合の候補地	今後、小学校の統合が行われる際の場所の候補にする。
	使える施設は使い、老朽化施設は解体・新設/小学校統合	使える施設は使い、老朽化しているものは解体・新設して、小学校統合。
	小学校統合と既存施設活用	曲川小、大山小を合併し、既存中学校の施設を活用。もちろん建て直し、それまでは統合しない。有田中に関しては体育館、グラウンドは残し運動施設として利用する。有田小をスポーツ合宿施設にして活用する。有田小は中部小の統合する。お金はかかるが、長い未来を見据えた動きをしないと後手を踏みます。有田町！勇気を出して下さい。
	小学校統合時の場所(有田・西有田)	有田地区、西有田地区共に小学校の統合時の場所とする。

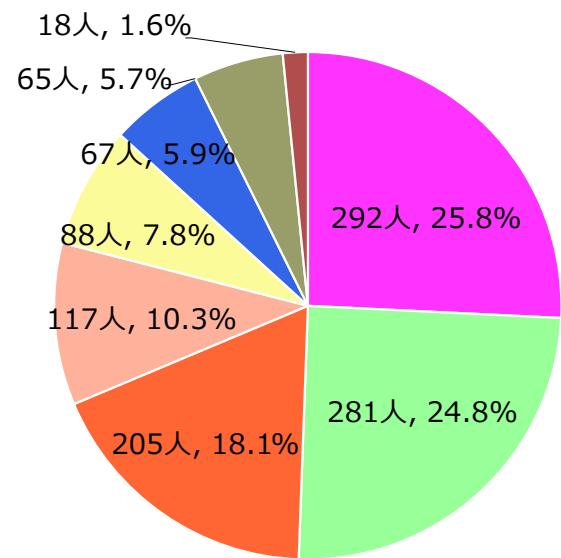
第1回アンケート結果

Q3-2. 統合後の既存中学校施設の望ましい活用方法-その他 2/2

大分類	小分類	意見
提案	多世代交流施設/放課後学習施設	公園もあり、障害児者施設や高齢者施設、保育園ほか色々な団体が共存できる場所になると良いと思います。また、子どもの放課後や夏休み期間中のスペース作り（自学習スペースや低料金での習い事…例えば習字やピアノ、そろばん、学習塾、体育教室、英会話学習、プログラミングなどなど）が学べる統合施設などになると親としても有難い。幼稚園児から大人までが学ぶことの出来る場所として再利用出来たら嬉しい。
	宅地分譲	宅地分譲。
要望	エンタメ施設	エンタメ施設として活用。
	スポーツ・防災複合施設	スポーツ施設として使用しながら、災害時の本格的な避難施設として活用。
	フリースクール	不登校児や障害児が過ごせるようなしっかりとしたフリースクールを作つてほしい。
	屋内遊び場	屋内遊び場として活用。雨の日に伊万里や佐世保、唐津などに行かない子どもが思いっきり遊べないから。
	給食を提供する飲食店	給食を提供する飲食店として活用。
	公共図書館	公共図書館として活用。
	災害時の避難所/トイレ改修	災害時の避難所として活用することができるよう、特にトイレを最新の設備に改修してください。
	宿泊施設	リノベーションをして宿泊施設として活用。
	商業施設	商業施設として活用。
	避難所	避難所として活用。
幅広い世代が利用できる屋内遊び場	複合型スポーツ施設	複合型スポーツ施設として活用。
	反対のため回答なし	賛成ではないので答えることはない。

第1回アンケート結果

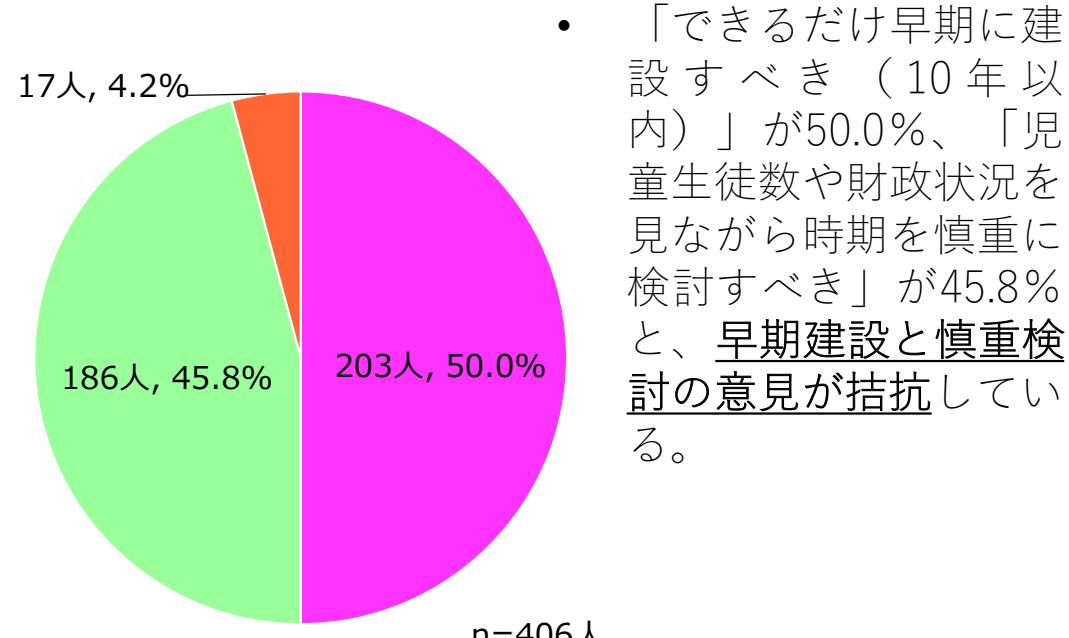
Q4-1. 統合中学校の建設地を決める際に、特に重視すべき点（3つ選択）



n=404人、延べ回答：1,133人

- 4) 通学路の交通安全（交通量・道路状況など）
- 3) 自然災害（洪水・土砂災害）に対する安全性
- 1) 全生徒の平均的な通学距離の短さ
- 2) 長距離通学を強いられる生徒の数の少なさ
- 6) 整備コストの抑制
- 5) 事業の確実性（用地取得の容易さなど）
- 7) 周辺住民への影響の少なさ
- 8) その他（自由記述）

Q4-2. 統合中学校の建設時期



n=406人

- 1) できるだけ早期に建設すべき（10年以内）
- 2) 児童生徒数や財政状況を見ながら時期を慎重に検討すべき
- 3) その他（自由記述）

第1回アンケート結果

Q4-1. 建設地で重視すべき点-その他

大分類	小分類	意見
意見	生徒数予測と新規建設の必要性	5年後、10年後、それ以降の生徒数を想定できているか？今新規建設は必要ない。
	長期的な視点と町全体のビジョン	将来世代のために長期的な視点にたち、有田町全体のビジョンの中で、どこに建設するのがベストなのが考えるべき。
反対意見	反対のため回答なし	賛成ではないので答えることはない。
意見/提案	歴史と文化の森公園への建設反対/代替案	歴史と文化の森公園に建設は、反対である。高地ではなく、曲川小学校かその周辺、あるいは歴史と文化の森の下周辺など、生徒が徒歩や自転車、電車で登校しやすい場所が最適だと考える。
	焱の博への建設反対/曲川小の改築	焱の博が候補のようですが、曲川小を改築すれば良い。焱の博は公園として整備すべき。
	現存校舎の整備という選択肢	現存する校舎を整備して使う選択肢はないのか。
提案	スクールバス活用と余剰教室の利用	スクールバスの活用で安全面を配慮し、少子化が進み余った教室の利用をどうするか。
	現曲川小敷地への建設	現曲川小敷地に統合中学校を建設するのがよい。
懸念	防犯対策と避難経路の確保	不審者がたてこもると孤立しやすい。狙われやすい。などがない様にしないといけないと思う。退避経路が確保しやすい立地、避難所としても活用できる事。
要望	スクールバスの活用と駐車場確保	スクールバスがあれば、多少遠くても安全且つ安価な場所でも良いと思う。ただ、行事がある場合の駐車場が確保出来る場所だと有難い。
	安心安全な学校/勾配のない場所	子供を安心して送り出せる学校、できれば勾配が無い今の曲川小学校が良いです。
	安全な通学路/送迎時の混雑防止	子どもたちが安全に通学できる場所。真夏の猛暑や凍結積雪時にも安全に通学できる場所。送迎時に交通渋滞にならない場所。自転車や徒歩で登りにくい坂の上や有田中学校のように途中から自転車から降りて引いていかないといけない坂道や交通量が多い場所は現実的ではないと考えます。
	学校周りの施設の充実	学校周りの施設の充実。
	自然環境への配慮	美しい自然ができる限り壊さないこと。
	駐車場確保	学校行事で保護者や町民が来校する際に、駐車場が確保できる敷地のあること。
	町の活性化につながる場所	町の活性化につながるような場所選び。
	登下校のしやすさ	登下校のし易さ。
遊び心のある学校施設		子供が行きたくなるような遊び心のある学校施設。

第1回アンケート結果

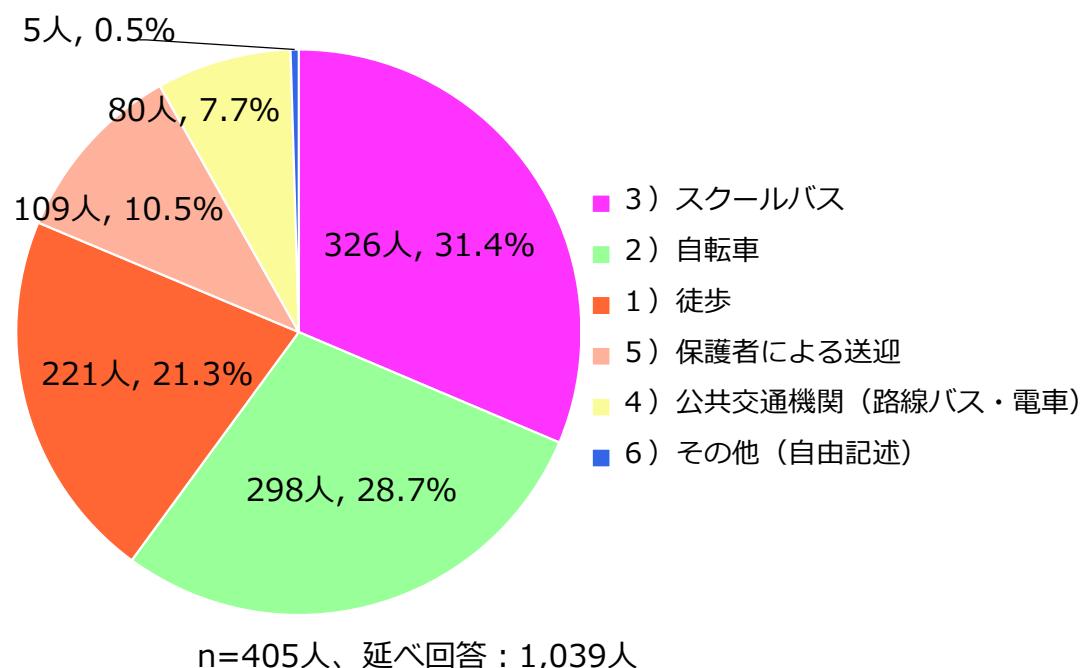
Q4-2. 建設時期-その他

大分類	小分類	意見
意見	安全性で時期を判断	老朽化が進んでいて安全ではないなら必然的に①です。しかし、まだ安全が確保できる状態であるのであれば②です。
	円滑な計画と広い視野の必要性	中学校新設の事だけではなく、全てが円滑に進む計画をしっかり立てるべき。中学校にこだわりすぎて未来が見えてないと思います。数年後もっとあーすれば良かったこーすれば良かったと後悔することになります。
	西有田中学校の老朽化/有田中学校の状況	西有田中学校は確かに外から見ても老朽化を感じるので解体後即公園や児童施設になることに期待できるが、有田中学校は10年後でも大丈夫な気がする。
	税金の有効活用/スクールバスでの対応	もっと他のことに税金使ってくださいね。スクールバス1台用意するだけで西有田の人は通えますね。人数少ないんだし。
	早めの統合が良い	少子化は今後何年もの問題なので既設の学校を改装するよりは早めに統合したほうが良いと思います。
	耐震性があれば統合不要	耐震等の問題がないのであれば、統合する必要はない
	中学校統合反対/小学校を先に検討	中学校統合は反対 有田と西有田地区別がいい 先に小学校の方を考えてほしい
	町内の最優先度事項を考慮	町内の最優先度事項を考えた上で
意見/提案	立地と老朽化状況による判断/小学校統合も視野に	立地的に西有田中学校を整備して、が望ましいと考えるが、老朽化で耐えられないのであれば、小学校も統合する形で建設が望ましい。
質問	耐震工事後の耐用年数	築年数が古いのは存じておりますが、耐震工事後の耐性はどれくらいなのかとかを知りたいです。
提案	データに基づいた校舎の有効活用	データをもとに、慎重に考えると現在の校舎を有効活用すべき。
	小学校の統合を先に	中学校の統合を実行するまえに、有田小学校と中部小学校の統合が先かと。
	小学校の統合を優先	少子化で中学の統合は良いが小学校の統合をするべきでは。
	小中学校の統合も検討	小中学校の統合も考えても良いのではないかと思う。
	他施設との融合検討	急いでつくるのもよいが、他の施設とも融合できないか検討して欲しい
要望	地域への同意/町民への説明	早目に取りかかれれば早くてもいいが、地域の同意や町民への説明はちゃんとやってください。

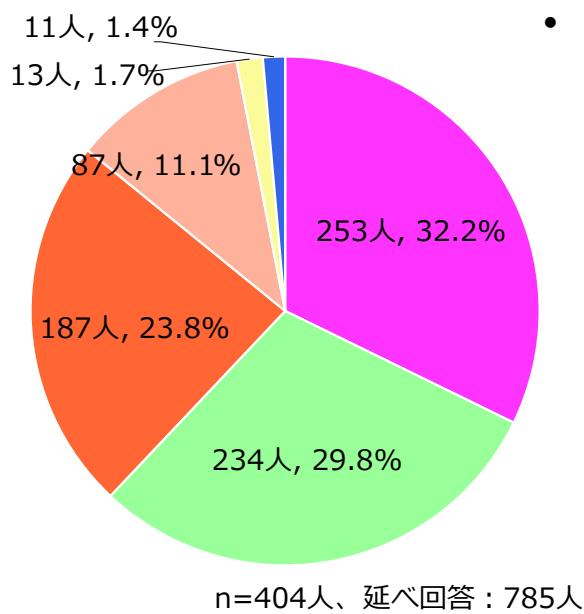
第1回アンケート結果

Q5-1. 統合中学校ができた場合、希望する通学手段
(選択はいくつでも可)

- 「スクールバス」が31.4%、「自転車」が29.8%と、スクールバスの導入が強く望まれている。
- 自力通学（自転車・徒歩・保護者送迎）も合わせて6割を占めている。



Q5-2. スクールバスを導入する場合、特に重視すべき点 (2つ選択)



- 「部活動の時間に合わせた柔軟な運行」が32.2%、「バス停の位置や数」「運行頻度」も合わせて8割以上と、柔軟な運行体制と利便性が求められている。

第1回アンケート結果

Q5-1. 希望する通学手段-その他

大分類	小分類	意見
反対意見	統合中学校への反対	統合中学は通学においても大反対。
意見(提案)	他地域からの生徒受け入れ（有田町民が譲歩しない）	有田町民が譲歩しなくていいと思う。生徒少なくて困ってるなら有田に来てくれてもいいよ
要望	保護者送迎に頼らない通学手段	長距離通学者は、保護者の送迎に頼らなくて済むようなシステムにしてください
	保護者負担軽減	通学費と送迎など、保護者負担がかからないようにしてください。

自由意見の整理 ①大分類：肯定的意見

小分類	意見要約	対応する意見数
現状への理解と受容	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化への懸念を示しつつ、将来の子供たちのために楽しく過ごせる学校創りを要望。 少子化による統合はやむを得ないとしつつ、遠距離通学の不便解消と、温かい給食の継続を要望。 町民全員の納得は不可能としつつ、決まったことについては受け入れる姿勢を示す。 統合に賛成しつつも、坂道通学の困難さ、送迎時の交通渋滞・防犯対策への懸念を表明し、安心安全な通学環境を要望。 	4
統合への期待と学校づくりへの要望	<ul style="list-style-type: none"> 近代的でグローバルな学校になることへの期待を表明し、より良い学校になることを楽しみにしている。 有田町らしい特色ある学校運営への期待。 統合自体に反対ではないが、中途半端な施設ではなく、最新設備を備え、佐賀県ひいては日本を代表するような魅力的な教育施設にしてほしいと要望。 	3
早期・迅速な計画推進	<ul style="list-style-type: none"> いずれ必要となるため、迅速な計画推進を希望。 老朽化が問題なら、早急に統合を進めるべきであると支持。 小中学校の早急な建設を要望。 	3
統合の推進とメリット	<ul style="list-style-type: none"> 現状の施設の老朽化と少人数による学習環境への影響を懸念し、統合による学力・コミュニケーション力向上への期待から積極的な統合検討を要望。 出生数からみて小中学校を一つに統合するのが現実的であると支持。 	2
建設予定地への賛成	<ul style="list-style-type: none"> 炎博公園周辺が地理的・安全面から望ましい建設予定地であると賛成。 	1

自由意見の整理 ②大分類：否定的意見

小分類	意見要約	対応する意見数
建設予定地への反対 (公園機能の喪失)	<ul style="list-style-type: none"> 炎の博記念堂（公園）を残すべきだと主張。 炎博公園がなくなることによる子どもの遊び場の喪失について懸念し、対応を質問。 炎博への建設に反対。炎博公園の独自性と重要性を主張し、無くさないことを要望。 文化と歴史の森公園の維持を要望、町民の活用や景観の重要性を指摘。 既存公園利用者の不利益を懸念し、代替公園の整備を要望。 歴史と文化の森公園への建設に反対し、公園の重要性や坂道による危険性を指摘。 既存敷地や空き地への建設、スクールバス・公共交通機関の活用を提案。 	7
建設予定地への反対 (物理的・環境的課題)	<ul style="list-style-type: none"> 炎の博記念堂の坂道や公園機能の代替について懸念と質問。 炎博が丘の上であるため、保護者の送迎増加による事故防止対策への懸念と質問。第一候補地の通学条件（寒さ、風、アレルギー）に反対。 建設予定地の坂道や遠距離通学、送迎による交通渋滞への懸念を表明し、スクールバスの充実など通学対策を要望。 山の上への建設に反対し、熱中症対策としての登下校対策（スクールバス）の必要性を指摘。 代替地（曲川小）への建設とMR鉄道利用によるスクールバス削減、定期代補助を提案。 中間地点への建設に反対し、既存校舎へのバス通学で費用を抑え、予算を他の支援に回すことを提案。 	6
計画の進め方・ 住民意見聴取の不足	<ul style="list-style-type: none"> 住民意見聴取の深化を要望しつつ、炎の博記念堂への建設に反対。 計画の乱暴さを指摘し、炎博会場跡地の有効活用を訴え、中学校新設案の中止を要望。 検討段階での意見聴取を要望し、決定後の意見反映の難しさを指摘。計画の進め方に反対。 部活動統合後の保護者送迎負担を問題視し、決定時には全体像を考慮した交通手段の決定を要望。 住民や子ども目線のビジョンと責任の所在の開示を要望しつつ、歴史と文化の森公園への建設に断固反対。 	5
統合の必要性・ 優先順位への疑問	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の統廃合を先に検討すべきではないかという疑問。 中学校統合の必要性に疑問を呈し、小学校の統合が先ではないかという疑問。 	2
費用対効果への懸念	<ul style="list-style-type: none"> 有田小学校のような高額な建物を避けるよう要望。 	1
給食センター化への反対	<ul style="list-style-type: none"> 各学校での給食提供を継続し、センター運用に反対。 	19

自由意見の整理 ③大分類：要望 1/2

小分類	意見要約	対応する 意見数
通学手段・送迎・交通安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の活用や通学費補助を通じて地域活性化を図るべき。 学校行事時の交通渋滞対策と、一本道にならないような考慮を要望。 スポーツをしない子供が多い現状と送迎の課題を指摘し、町による改善、小中学校全体への目配りを求める。 共働き家庭への配慮、スクールバスと公共交通機関との連携による通学利便性向上を要望。 交通事故と防犯対策を要望。 登下校の安全対策の徹底を要望。 保護者送迎のスムーズな導線確保と危険性解消を要望。 通学路の街灯充実を要望。 送迎時の駐車場や遠距離通学への懸念を表明。 	12
教育環境・内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> いじめのない、勉強しやすい環境の整備を要望。 SNSいじめや性教育などの授業導入を希望。 一人ひとりの生徒に配慮し、不登校生徒を出さない学校運営を要望。 学力の底上げを要望。先進校調査や専門家の意見を取り入れ、偏りのない情報収集を要望。 ソフト面での教育の質向上に注力すべき。 教室の広さ、備品の使いやすさなど基本的な学習環境を重視し、派手な設備より教材と人材育成の重要性を強調。 小中一貫校の検討を提案。 多様な部活動ができる環境整備を要望。 	9
建設地選定と施設構造への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 既存の公園機能維持を要望し、地域住民と共生する活用を要望。 現有田中学校の改築とスクールバス導入を要望。 現有田中学校の問題点を指摘し、地域との交流がしやすい平地への整備を要望。 坂の上ではない、登校に負担がない立地を要望。 西有田中学校周辺への建設を提案、炎博よりも平地で経費も安くなると推測。 生涯学習センターの建て直しと学校との複合化、交通利便性と地域活性化を考慮した建設を要望。 坂道ではない平坦な場所への建設と、平屋構造を要望。 	8

自由意見の整理 ③大分類：要望 2/2

小分類	意見要約	対応する意見数
施設・設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> エアコンとエレベーターの設置を要望、特にエレベーターは高齢者や身体不自由者の利便性向上のため。 多岐にわたる要望（スクールバスの無料化・増設・バス停増、広い駐車場、全教室エアコン、制服の費用軽減・おしゃれ・手入れ不要化、毎日給食、強い部活動、プール、明るい学校、自習室、英語教育の強化など）。 体育館へのエアコン設置を要望。 体育館の冷暖房完備と災害時利用可能なトイレを要望。 高額な税金を使うため、防犯カメラ設置と多年代が利用できる施設を要望。 冷暖房設備の充実、目に優しい照明、階段の色分け、緊急連絡手段の充実を要望。先生と生徒にとってより良い環境を要望。 	7
統合時の伝統継承と配慮	<ul style="list-style-type: none"> 統合にあたり、各中学校の校歌、校章、伝統行事への配慮を要望。 卒業生のために旧校舎の一部利用やオブジェ設置など、懐かしさを残す工夫を要望。 生徒や保護者の負担が少なくなるよう配慮を要望。 部活動の学校間移動について町によるバックアップを要望。 	4
情報公開と住民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> アンケート用語の専門性を指摘し、分かりやすい表現を要望。 整備前の保護者・住民への説明と広報誌での報告を要望。制服変更時の混乱や部活動運営における保護者負担、体制不備を指摘し、保護者意見の反映と統一的な対応を要望。保護者だけでなく、教員の意見も重視するよう要望。 担任とのコミュニケーションツールの導入を要望。 	4
長期的な視点と財政配慮	<ul style="list-style-type: none"> 建設だけでなく運用整備コストも考慮した計画を要望。町の財産をコンパクトにし、企業誘致や売却、施設の維持管理費用を考慮した長期的な視点での計画を要望。 	2
地域連携と活性化	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫校の検討や小学校合併を見据えた費用削減策、未来の教育場の検討を要望。町の発展を念頭にインフラ整備と他校との交流を考慮することを要望。 	2
既存資産の活用と費用対効果	<ul style="list-style-type: none"> 既存建物の有効活用とコスト削減を要望し、改築と新築の費用比較の具体的な数字提示を求める。 	1
費用負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> 制服や備品のコストを抑え、家計負担の軽減を要望。 	1